

滋賀国道が支える 道路ネットワークの進化

— 令和 7 年度 4 路線開通を迎えて —

国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所

1. はじめに

滋賀国道事務所は、滋賀県下の国道 1 号、8 号、21 号および 161 号の 4 路線、指定区間延長約 241.5km の道路管理を担っている。



管内道路区間延長

令和8年4月1日現在

路線	延長 (km)	区間	雪害延長 (km)	異常気象時 通行規制 区間管理 (箇所)	担当出張所
1号	69.0	三重県亀山市 大津市	—	2	草津維持
8号	85.3	長浜市 蒲生郡竜王町	56.7	—	彦根維持
		野洲市 栗東市	—	—	草津維持
21号	13.8	米原市	13.8	—	彦根維持
161号	73.4	高島市 大津市	37.1	1	堅田維持
合計	241.5		107.6	3	

草津維持出張所 79.5km、彦根維持出張所 88.6km、堅田維持出張所 73.4km

古来より交通の要衝として栄えてきた滋賀県は、雄大な琵琶湖を中心に県内外が結ばれており、京阪神圏と中部・北陸圏を結ぶ広域交通の結節点に位置している。

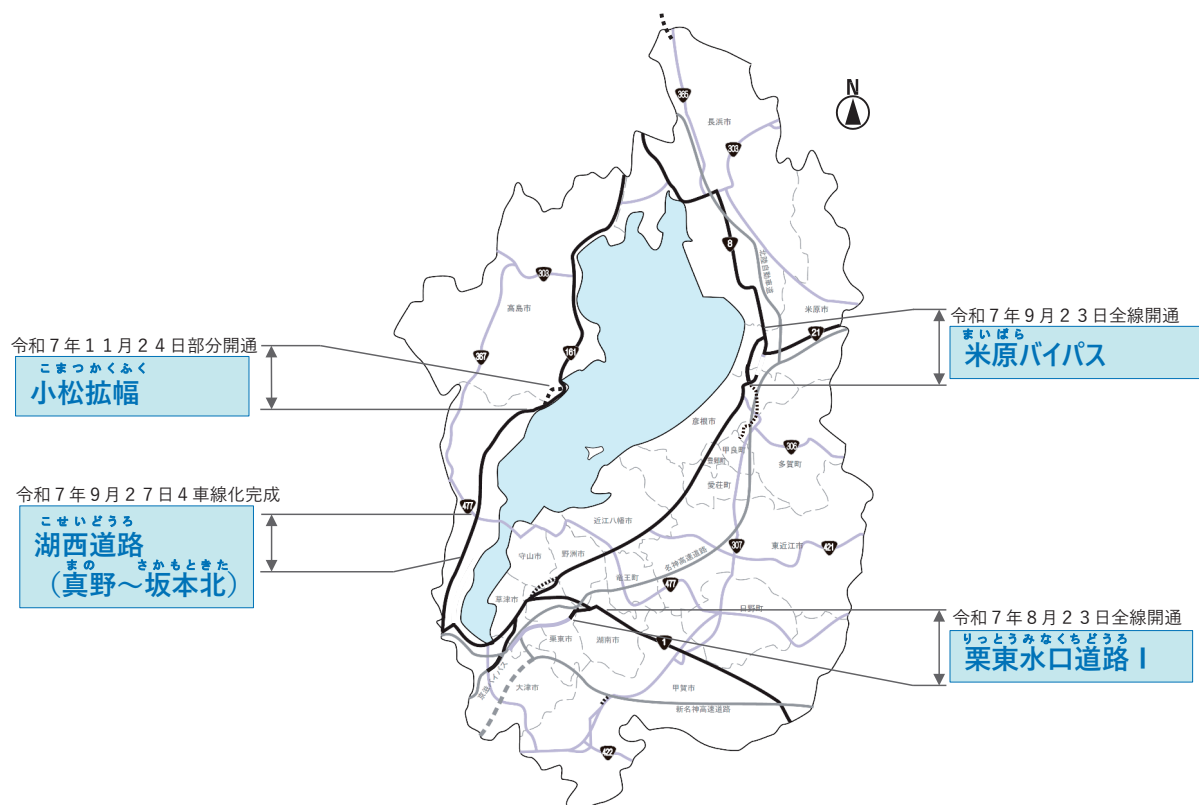
滋賀国道事務所では、災害に強いまちづくり、安全な暮らしの確保、良好な環境づくり、地域振興に資するみちづくりを基本方針として道路整備を推進している。

一方、市街地部における慢性的な渋滞や交通事故への対応、さらには災害時の交通確保など、解決すべき課題は依然として多く、道路ネットワークのさらなる強化が求められている。

令和 7 年度には、こうした課題に対応する 4 路線が相次いで開通を迎えた。

本稿では、各路線の概要とともに、栗東水口道路 I の開通式典の様子、また栗東水口道路 I および湖西道路を代表例として、整備効果について報告する。

2. 4 路線の開通による道路ネットワーク強化



令和7年度に開通した4路線の概要は以下のとおりである。これらの開通により、滋賀県内の東西・南北方向の道路ネットワークが強化され、交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域間連携の向上が期待される。

① 国道1号 栗東水口道路Ⅰ

国道1号栗東水口道路Ⅰは、高規格道路「甲賀湖南道路」の一部を構成する道路であり、国道1号の交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的として整備が進められてきた。

令和7年8月23日に全線が開通した。これにより、国道1号の混雑緩和および湖南地域における東西交通の円滑化が期待される。



開通した栗東水口道路Ⅰ

② 国道8号 米原バイパス

国道8号米原バイパスは、長浜市・米原市・彦根市における交通混雑の緩和、交通安全の確保を目的とした道路である。

令和7年9月23日に9工区が開通し、延長10.3kmの全線開通を迎えた。これにより、市街地の交通混雑緩和が期待される。



開通した米原バイパス

③ 国道 161 号 小松拡幅

国道 161 号小松拡幅は、高規格道路「琵琶湖西縦貫道路」の一部を構成する道路であり、昭和 45 年度に事業化した延長 6.5km の区間である。

令和 7 年 11 月 24 日には、大津市北小松地区の延長 2.4km が開通した。これにより、湖西地域におけるボトルネックの解消と南北交通の円滑化が期待される。



開通した小松拡幅

④ 国道 161 号 湖西道路（真野～坂本北）

国道 161 号湖西道路の真野から坂本北間は、「琵琶湖西縦貫道路」の一部として、湖西地域の幹線道路ネットワークの強化、交通混雑の緩和および交通安全の確保を目的とした道路である。

令和 7 年 9 月 27 日に 4 車線化が完成し、本格運用を開始した。これにより、大津市内の交通混雑の緩和および交通の円滑化が期待される。



4 車線化の本格運用を開始した湖西道路

3. 開通式典の様子



テープカットの様子



通り初めの様子

国道 1 号粟東水口道路 I においては、令和 7 年 8 月 23 日に開通式典が執り行われ、令和 7 年度に滋賀県道事務所管内で開通した 4 路線のうち、最初に開通した路線である。

式典では、テープカットおよびくす玉開披に続いて、滋賀県警察音楽隊によるウェルカム演奏、上砥山田楽踊保存会によるお祝いの踊り、治田西カナリヤ第 3 保育園・大宝カナリヤ保育園の園児によるお祝いの歌が披露された。

式典後には通り初めが行われ、地域の皆さまとともに、長年にわたり整備を進めてきた粟東水口道路 I の全線開通を祝った。

4. 整備効果

令和7年度に開通した4路線は、それぞれの地域において交通の円滑化や交通安全の確保、地域活動の支援などに寄与するものである。ここでは、栗東水口道路Ⅰおよび湖西道路を例として、主な整備効果について紹介する。

－ 栗東水口道路Ⅰを例として －

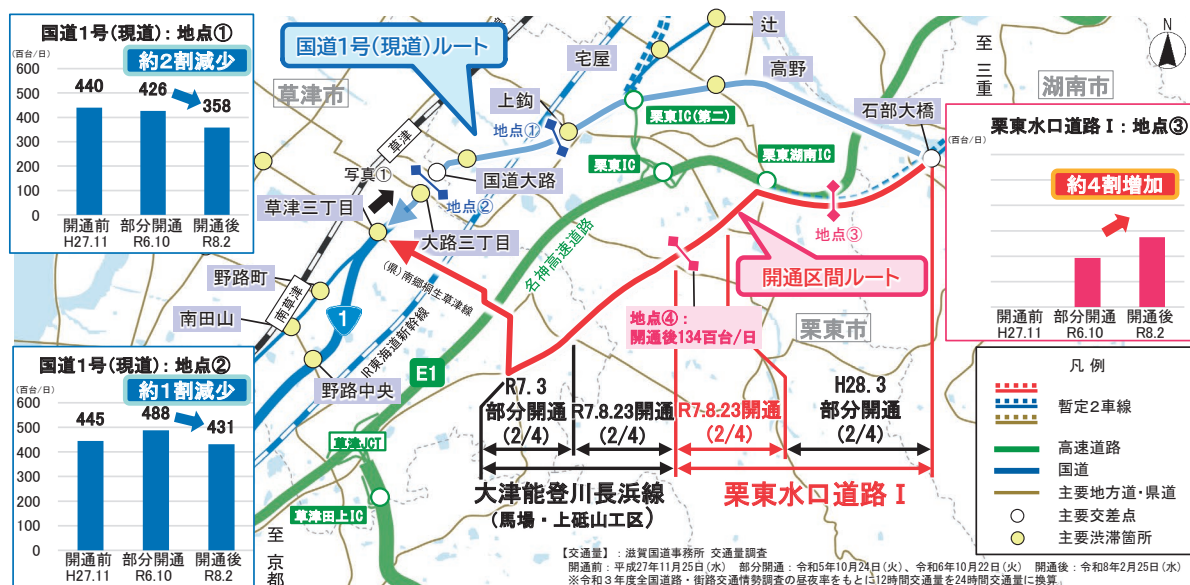
栗東水口道路Ⅰの開通により、交通の円滑化や医療施設へのアクセス向上などの整備効果が確認されている。

(1) 交通の円滑化

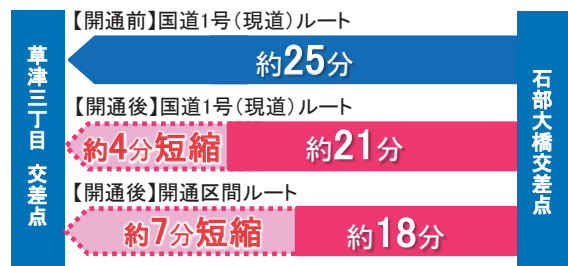
栗東水口道路Ⅰへの交通転換により、並行する国道1号現道の交通量が減少し、大路三丁目交差点における渋滞緩和が確認された。

また、石部大橋交差点から草津三丁目交差点間の平均所要時間が約7分短縮された。さらに、時間信頼性、すなわち所要時間のばらつきも改善した。

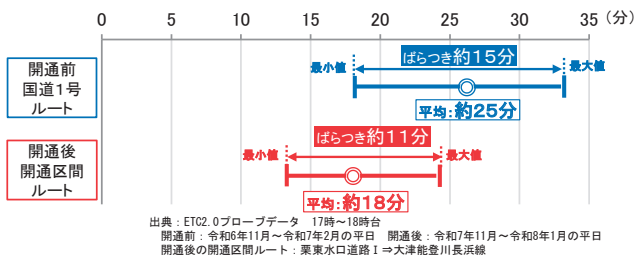
これにより、通勤や物流をはじめとした日常的な交通の円滑化が図られ、湖南地域における東西方向の移動の利便性向上が期待される。



【草津三丁目交差点⇄石部大橋交差点(京都行)】



【草津三丁目交差点⇄石部大橋交差点(京都行)】

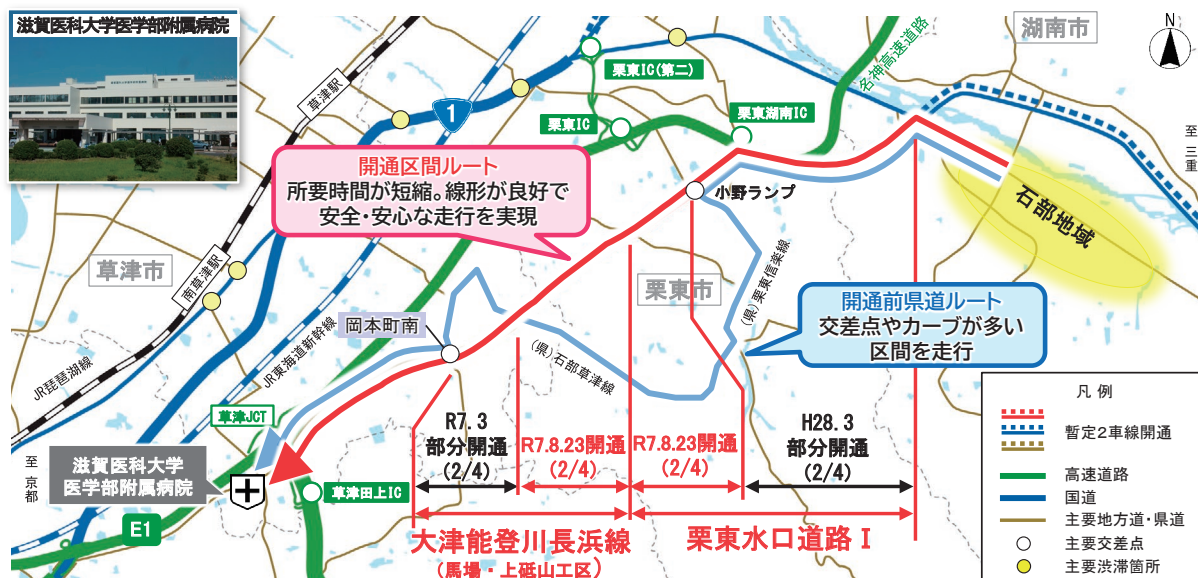


(2) 医療施設へのアクセス向上

石部地域から滋賀医科大学医学部附属病院への平均所要時間は、開通前と比較して約13分短縮された。また、開通前に利用されていた県道経由ルートと比較すると、走行時の急ブレーキ発生件数が約6割低減しており、救急搬送時の安全性および走行安定性の向上に寄与している。

消防関係者からは、新たに栗東水口道路Ⅰ・大津能登川長浜線が開通したことにより、所要時間が短縮され、速達性の向上につながっていること、また開通区間は線形が良く、交差点も少ないため、安定した走行ができ、患者の負担軽減につながっているとの声が寄せられている。

このように、栗東水口道路Ⅰは、交通混雑の緩和だけでなく、地域医療を支える道路ネットワークとしてもその効果を発揮している。

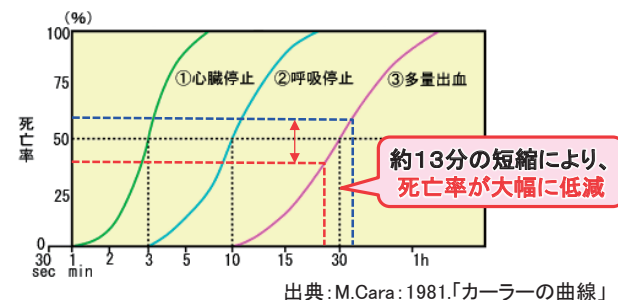


【滋賀医科大学医学部附属病院⇄石部地域(京都行)】



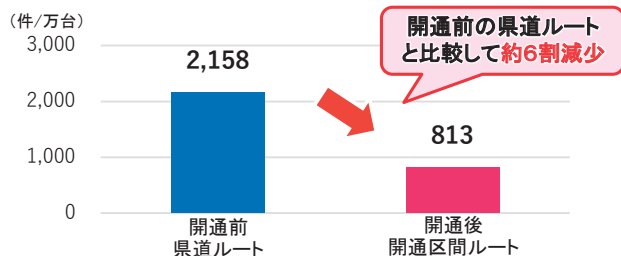
出典：ETC2.0プローブデータ 平日17時～18時台
 開通前：令和6年11月～令和7年1月の平日 開通後：令和7年11月～令和8年1月の平日
 開通前の県道ルート：県道栗東信楽線⇄石部草津線
 開通後の開通区間ルート：栗東水口道路Ⅰ⇄大津能登川長浜線

【緊急事態における時間経過と死亡率の関係】



【走行時の安定性が向上】

【走行時の急ブレーキ件数】



出典：ETC2.0プローブデータ
 開通前：令和6年11月～令和7年1月の平日 開通後：令和7年11月～令和8年1月の平日
 開通前県道ルート、開通後開通区間ルートの集計区間：小野ランプ⇄岡本町南交差点
 ※急ブレーキ回数：-0.25G以上の前後加速度を対象に集計

消防関係者の声



甲賀広域
行政組合
消防本部

- 新たに栗東水口道路Ⅰ・大津能登川長浜線が開通したことにより、所要時間が短縮され**速達性の向上**につながっています。
- また、開通区間は線形が良く、交差点の通過も少なく**安定した走行**ができ、**患者の負担軽減**につながっています。

出典：R8.2 滋賀国道事務所ヒアリング調査

— 湖西道路を例として —

湖西道路の4車線化整備により、交通環境の改善などの整備効果が確認されている。

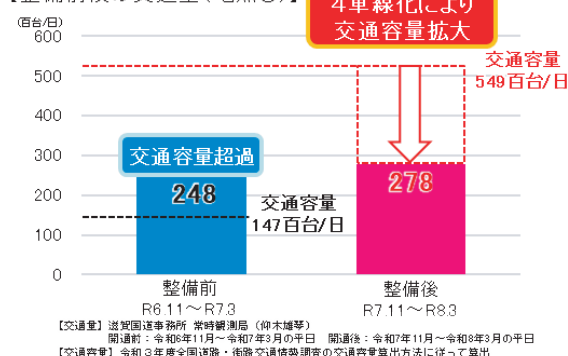
(1) 交通環境の改善

湖西道路の4車線化整備により、交通容量が拡大し、車線数の減少を要因とする坂本北 IC 付近や仰木雄琴 IC 合流部等の交通混雑が解消された。

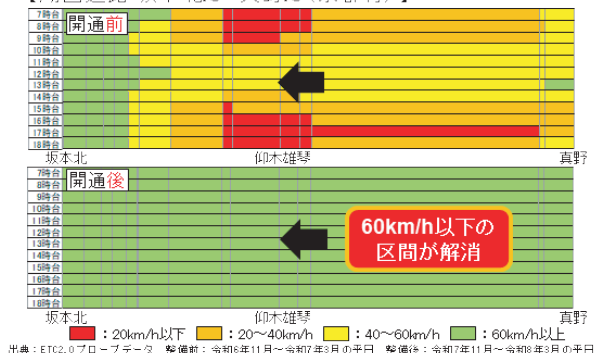
また、交通混雑の解消により、湖西道路真野 IC から坂本北 IC までの平均所要時間が約 10 分短縮するとともに、時間信頼性が向上した。



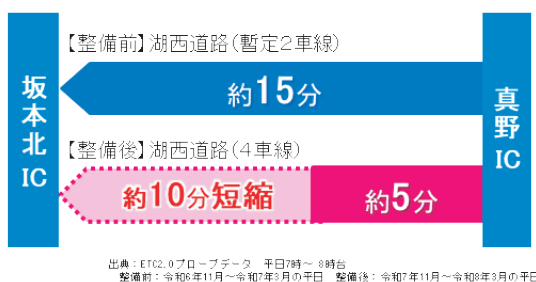
【整備前後の交通量(地点①)】



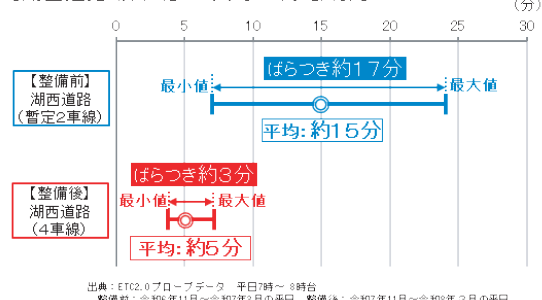
【湖西道路 坂本北IC⇄真野IC(京都行)】



【湖西道路 坂本北IC⇄真野IC(京都行)】



【湖西道路 坂本北IC⇄真野IC(京都行)】

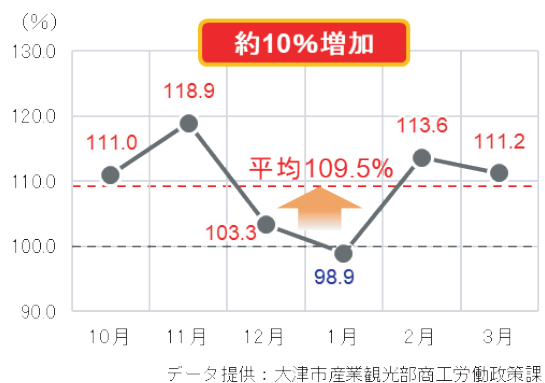
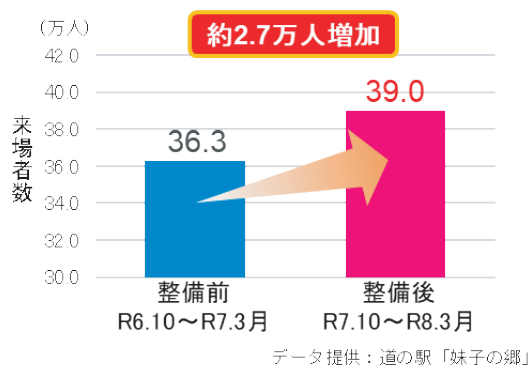


(2) 観光の活性化

湖西道路の4車線化整備後、道の駅「妹子の郷」へのアクセス性が向上し、令和7年10月から令和8年3月の来場者数が約 2.7 万人増加し、観光需要が拡大した。

また、秋の観光シーズンを中心に売上高が増加するなど、湖西地域の観光活性化に寄与している。

このように道路ネットワークの強化は、移動時間の短縮やアクセス性の向上を通じて、観光交流の促進にもつながるものである。



出典：(公社)びわこビジターズビューロー



観光地の声



道の駅「妹子の郷」

○湖西道路の4車線化により、昨年の秋と比べて来場者数が約2.7万人増加し、県内だけでなく県外からのお客様も増えたと感じています。

○渋滞緩和により早い時間帯から到着できるようになり、午前中の来場が増加しています。また、帰りの時間を気にせず、ゆっくりとお買い物を楽しまれていると感じています。

出典：R8.3 滋賀国道事務所ヒアリング調査

5. おわりに

令和7年度における4路線の開通は、滋賀県内における広域道路ネットワークの強化に大きく寄与した。栗東水口道路Ⅰでは、国道1号における交通の円滑化や医療施設へのアクセス向上が確認され、湖西道路では、4車線化による交通環境の改善や観光の活性化への効果が現れている。また、米原バイパスや小松拡幅についても、それぞれの地域における市街地の混雑緩和や交通の円滑化に寄与している。

長年にわたり各路線の整備にご理解とご協力をいただいた地域の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに心より感謝申し上げる。

今年度は、国道8号野洲栗東バイパスの部分開通に向けて事業を推進するとともに、整備効果を最大限発揮できるよう、既存路線との連携強化やボトルネック対策を着実に進め、さらなる交通の円滑化と安全性の向上に取り組んでいく。

また、引き続き安全・安心で快適な道路空間の確保に努め、滋賀県内の暮らし、産業、観光を支える道路ネットワークの進化に取り組んでまいりたい。